

### 第3回豊明市地域包括ケア連絡協議会 見守り生活支援部会 議事録

日 時 平成27年12月22日(火) 14時～

場 所 豊明市役所 本館3階 会議室1

〔出席委員〕 3名 (欠席：辰野委員、矢野委員)

〔委員代理〕 4名

〔オブザーバー〕 8名

〔傍 聴〕 なし

あいさつ (岩名部会長)

議事進行 (松本係長)

#### 議 事

##### 1 見守り生活支援事業の進捗について

○資料1より、事務局より見守り協定について報告

- ・ライフライン9月15日、セブンイレブン10月16日協定。
- ・現在3件ほど通報あり。

○資料2より、事務局より運動教室、サロン活動についての報告

- ・来年度よりスタートする「まちかど運動教室」について。
- ・地区会場、中央会場、指導者養成コース。
- ・地域サロン、昨年度15箇所から現在37箇所に拡大。

(質疑・意見)

○見守り通報内容とその後の顛末は？

- ・新聞が3日程溜まったまま→外出だった。

○サロン交付金については、37箇所すべてに交付しているのか？

- ・必要なサロンに交付している、新規サロンは立ち上げ支援のため全箇所交付。
- 指導者養成はどんな人でもいい？運動技術だけではなく、トーク技術もいる、難易度高い？

- ・そのとおり。指導者養成コースの修了生は、人材バンクに登録してもらい、レベルに分けて派遣可能な活動や教室を紹介する。

○サロンも内容にばらつきがあるので、サロンの指導者養成も必要では？

○参加者は1部、運動だけでなくお茶でもよい、とにかく外出のきっかけを。

○それぞれのサロン参加者が地区町内でどれくらいの利用率を調査すべき。

○サロンの設置箇所を増やすのもよいが、男性をどうやって引き出すかである。

- ・時間や対象者を幅広く設定してどうか。男性限定や夜に開催されるサロンを。

○落合区で開催しているサロンは月1回と少ないため、各町内でそれぞれ

週1回通いの場ができれば毎日どこかで誰かがいる状態をつくれると

考えている。すでに男性が神明社で定期的に麻雀をしているので、そこ

をうまく活用できないか計画中。

## 2 桶狭間区福祉委員会の立ち上げについて

○資料3より桶狭間区見守り生活支援ボランティア代表鈴木さんより報告

## 3 見守り生活支援における今後の取り組みについて

○資料4より事務局から説明

- ・目指すべき姿 地域福祉組織の組織化

### (質疑・意見)

○地域福祉組織は子どもも障がい者も対応するのか？

- ・最初は高齢者福祉からの切り口だが、もちろん子どもや障がい者も対象として拡げていく。

○地域福祉組織化については社会福祉協議会が担当？市と社会福祉協議会がバラバラに施策展開してはダメ。

- ・個々に動かずに各団体の強みを生かして協力するために見守り生活支援部会がある。定期的に協議していく。

○サロンは介護予防のためだけではない、情報集約の場、気になるケースを把握して上に上げていくという視点も必要では。

○災害の場合、向こう三軒両隣の体制をどうつくるかということで頭を悩ませているが、支え合いマップを作るとなると、メンテナンスが大変。要援護者をどう把握するかも課題。

- ・支えられ上手というのも大切。無理やり把握しようとしても難しい。

### 今後の見守り生活支援部会について

- ・既存の福祉委員会や見守り生活支援活動との連絡会を行い立ち上げ団体同士で課題共有し、各地区の進捗を報告。
- ・来年度から各地縁団体へ福祉組織の立ち上げについて広報周知する。